

志賀高原（熊の湯）スキーと四十八池スノーハイク報告

期 日： 2月4日（土）～5日（日）

参加者： CL柘植（記録）、SL室、杉山、安岡

報 告 1： 2月4日（土） 快晴 志賀高原熊の湯山スキー 12:00～15:45（午後券）

土日を志賀高原で過ごすプランで、初日は熊の湯でのスキー、翌日は四十八池までのスノーハイクという計画で出かけた。熊の湯は柘植は学生時代に何回か訪れた懐かしのスキー場で昔はとても賑やかであったが、今回はハイシーズンで快晴の休日というのにスキーヤーはまばら。いったいどうなっているのだろうか？



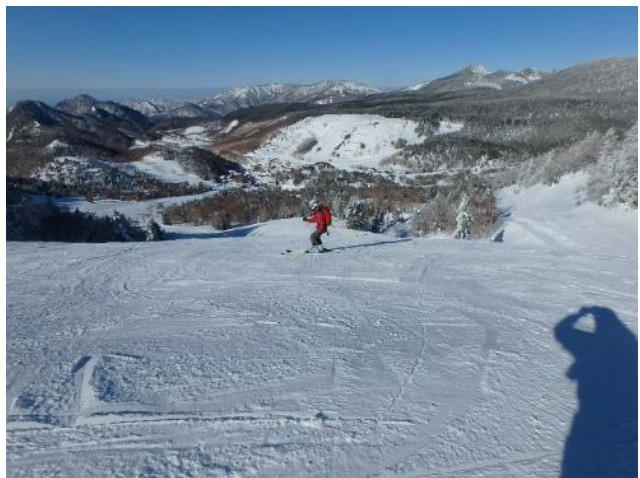
閑散とした熊の湯ゲレンデ



リフトトップで笠ヶ岳をバックに杉山さん



室さんの慎重な滑り



杉山さんの軽快な滑り

半日券は16:30まで利用可能だが、疲れたのとロッジライフを余裕をもって楽しみたいということで、15:45でスキーを打ち上げて石の湯ロッジに向かう。ここは室さん御用達のロッジだそうで、いかにも志賀高原という雰囲気の中でおいしい食事と24時間入れる温泉でゴージャスな夜を満喫した。



報告2 : 2月5日(日) 曇りで小雪ちらつく 四十八池スノーハイク 9:00~12:00

本日は四十八池までのスノーハイクの予定。熊の湯スキー場のなんとかホテル横の駐車場に車を止め、まず前山に登る。ここは右手から弓なりに半時計回りで登るのだが、横手山方面から下りてきたトレースを過ぎるともう踏み跡がない。四十八池スノーハイクはネットにも結構記録が出ていたので、この週末は一緒に歩く仲間がいたら嬉しいなと思っていたが期待外れ、おまけにラッセルまでしなければいけないらしい。

熊の湯スキー場の積雪は320cmとあったので、前山もそれに近い積雪があるのだろうか。ワカンをつけているのでさほど潜らないが、やはりノッシノッシという歩き方で、夏時間の半分くらいのスピードになってしまう。



前山山頂



波池 (といってもただの雪原)



交代で雪道を行く



深い雪の森に包まれる喜び

四十八池付近の原っぱが近づいてきたころ、進行方向と直角のトレースに出会う。志賀山から四十八池に向かうものと思われるが、ちょうど2時間くらい歩いたので、ここを折り返しポイントとすることに

した。

帰りはさすがにトレースがあるので早く、往路の半分の1時間で出発地点の駐車場に着いた。



帰路はトレースがあるので早い

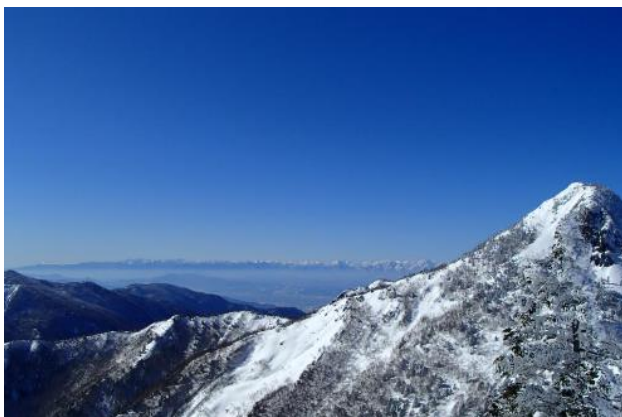
モンスター状になったコメツガ

前山山頂からは熊の湯スキー場が眼

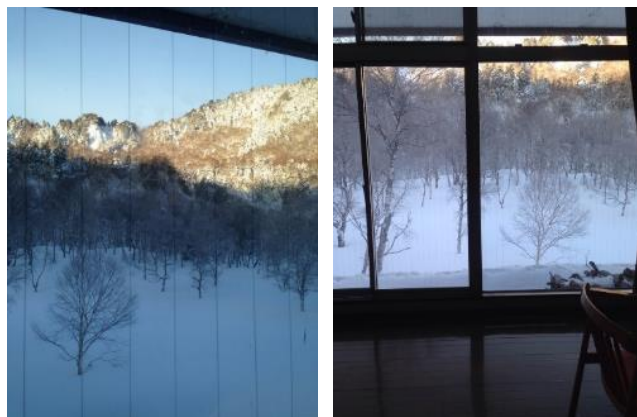
下に

石の湯ロッジは宿泊客には帰りも温泉を解放してくれているので、ゆっくり温まってから帰路についた。今回はスキーとスノーハイクを組み合わせた。最初はせっかく志賀高原に行くのでスキー三味が希望だったが、スキーは半日目一杯滑れば結構お腹いっぱい。二日目のスノーハイクは天気がイマイチだったので残念だったが、自分たちだけの静寂の森はとても印象に残った。

最後は番外編の写真で山行報告を締めくくりたいと思います。



リフトトップからの笠ヶ岳(右)と北アルプス



石の湯ロッジからの風景



石の湯ロッジの食事(一部)



スノーハイクばんざい!